

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニッポン高度紙工業株式会社米子工場	階数	地上2F、地下1F
建設地	鳥取県米子市二本木220番地-1 他	構造	S造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,928 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年2月2日
敷地面積	50,000.29 m ²	作成者	株式会社竹中工務店
建築面積	5,940.72 m ²	確認日	2023年2月10日
延床面積	9,751.97 m ²	確認者	株式会社竹中工務店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 市街地景観及び既存工場との調和を図る建物を目指した。またトップライトの利用や高効率空調、人感センサーによる照明制御の採用により環境に配慮した工場としている。	その他 特になし	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆を全面的に使用することで室内環境の品質を高める。	Q2 サービス性能 階高、天井高を十分にとり作業者にとってゆとりある空間を確保する。	Q3 室外環境(敷地内) 既存建物と同様に落ち着いた市街地景観との調和を図った建物デザインにした。
LR1 エネルギー トップライトの採用により、照明消費電力の削減を図る。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を3種類利用している。また、工場内で使用する水は井水を濾過した浄水を使用している。	LR3 敷地外環境 敷地内において、駐車スペースや搬入動線の確保により交通負荷を抑制している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される